

どうぶつこうえんニュース

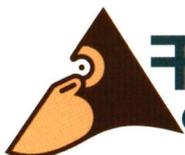


No.44・45

合併号

2002

夏・秋号



千葉市動物公園
Chiba Zoological Park

Topics

トピックス

バクの親子 (奇蹄目)

さる6月4日に、マレーバクの子どもが生まれました。

当園では、2000年の9月以来で4頭目の子どもです。両親は、1991年と1992年から飼育しています、オスのヤマトとメスのユキミです。

2001年4月下旬からヤマトとユキミのペアリングを始めました。翌月の5月3日に交尾が見られました。その後は、ユキミの発情や交尾が確認できませんでしたので、妊娠している可能性があります。2002年1月下旬には、ユキミの下腹部も少し大きくなり、乳房が後ろから確認できるようになりました。4月下旬より、出産準備のためにヤマトと分け、裏にある放飼場で飼育をしました。この頃には腹部もだいぶ大きくなり、乳房や乳首も大きくなりました。また5月下旬には、陰部も緩んできました。

6月4日の朝、子どもはすでに生まれていました。体は、ほぼ乾いており、しばらくすると歩き始めました。ユキミは、今回で3度目の子育てなので、特に心配はしませんでした。9時ごろには子どもに授乳をしていました。授乳が終わってからしばらくしてから、子どもの体重と性別を確認するため、母親から分けました。体重は約10kgで、女の子でした。バクは悪い夢を食べるとい話がありますので、美しい夢でミムという名前にしました。バクの子どもは、親と異なり、黒地に白い斑点としま模様のうり坊と呼ばれる模様で

生まれます。ミムは、2頭のお兄ちゃんたちと違い背中が、若干茶色がかっていましたが、ミムは、最初は歩き方がぎこちなかったのですが、ユキミの後を追いかけて、遊んでいるうちにだんだんとたくましくなってきました、おてんば振りを見せています。最近では、少しずつユキミに与えている餌も食べ始めてきました。背中も親になると白くなる部分が少し白くなってきました。これから、ミムもだんだんと親のような色に変化していくと思います。

最後になりましたが、ミムも無事に成長し、母親のユキミのように、優しく、子育てが上手な母親になってくれることを願っています。

足立 仁之 (Masayuki Adachi)



目次

CONTENTS

表紙【ゴリラの親子】	①
トピックス【バクの親子】	②
(表紙の説明) (動物飼育数)	
特集【アフリカ熱帯林の今、そしてこれから】	③
【特別展示.....】	③
大特集【ゴリラ(モモタロウ)の成長過程】	④
(写真を中心に説明文を)	⑤
【サマースクールに関して】	⑥
(写真を中心に説明文を)	⑦
動物公園の動物【ケープペンギン】	⑧
動物公園の植物【御衣黄(里桜)】	⑧
飼育よもやま話【シロオリックス】	⑨
飼料センターから	⑨
動物公園日誌から【'02.2/1~'02.7/31】	⑩
	⑪
編集後記	⑪
裏表紙【アシカの親子】	⑫
Information	⑫

表紙の説明 ゴリラの親子

フリーディングローンで上野動物園に貸し出され、無事、雄の子を出産した、ニシローランドゴリラの「モモコ」とその子「モモタロウ」が、平成14年7月8日に帰って来ました。

子の「モモタロウ」は2才を過ぎてすっかりたくましくなっていて、身軽にロープをよじのぼったり、放飼場の擬岩から飛び下りたりと、元気いっぱい遊びまわっています。

日本では12年ぶりの繁殖でもあり、日本のゴリラの将来を担うような立派な雄ゴリラに成長することを、職員一同願ってやみません。

秦 舜二 (Shunji Hata)

表紙写真/田谷 雅章
(Masaaki Taya)

動物飼育数

平成14年7月末現在の飼育数

Classified number of animals
as of 31.July.2002

哺乳類	64種	381点	両生類	1種	2点
鳥類	78種	278点	魚類	0種	0点
爬虫類	6種	23点	総計	149種	684点

特集



アフリカ熱帯林の今、そしてこれから 野生のニシローランドゴリラと動物園のニシローランドゴリラ

西原 智昭

千葉市動物公園にやってきたゴリラのモモタロウ君の仲間が棲んでいるふるさとは、日本からはとても遠いアフリカの熱帯林です。そこに棲んでいるゴリラは、「ニシローランドゴリラ」と呼ばれています。日本の動物園にいるゴリラはみんな、ニシローランドゴリラの仲間なのです。

ぼくは、10年以上にわたってアフリカの熱帯林に住んで、ニシローランドゴリラの研究をしてきました。野生のゴリラはそこで草やたくさんの種類の木の実を食べます。沼地にもズブズブ入っていつて何時間もそこにいて水草を食べたりします。ふつう、ゴ



リラの家族は大きなオスゴリラ一頭に、何頭かのメスゴリラとその子どもたちでなっています。夜になると、森の中の草をうまく折りたたんで、家族みんなでベッドを作ります。小さなコドモのゴリラは、おかあさんといっしょのベッドに寝ます。

モモタロウ君が住んでいるのは、熱帯林ではなく動物園です。モモタロウ君がこれからも元気にすくすく育っていくように、みんなで応援し、見守っていきましょう。

JWCS（日本野生生物保全論研究会）主任研究員

科学館2F

特別展のご紹介

絵本展「ゴリラと赤い帽子」

長年、アフリカ・コンゴ民主共和国の「カフジ・ピエガ」国立公園で、ヒガシローランドゴリラの研究と保護活動に携わってこられた山極寿一先生（京都大学助教授）が、地元の画家、ダヴィッド・ビシームワ氏とともに制作した絵本がご覧になれます。



この絵本は、初めて『ゴリラ語』で書かれました。特設ビデオコーナーでは、山極先生自らがゴリラ語をお話しているようすもご覧になれます。

出版：福音館書店

お二人を含め、たくさんの人々がゴリラの保護のためにNGO「ポポフ」（ポレポレ基金）を1992年に設立し、今年10周年を迎えました。地元の子どもたちとゴリラたちとの交流を思い浮かべながら、日本に住む私たちにもできることを考えていきたいと思ひます。

千葉市の鳥

コアシサシを守ろう

我孫子市の中学生が、コアシサシの保護に役立ててほしいと、千葉市にプレゼントして下さったデコイ（木彫りの実物大模型）や、千葉市がとりくんでいる保護活動・子育てのようすがご覧になれます。

コアシサシは、遠くオーストラリアから繁殖の為に日本に渡ってきます。千葉市でも数多く繁殖しますが、年々、カラスの被害などにあうことも多くなり、人の手で守らないと安心して子育てができない場合も増えてきました。



ヒナが充分育つと、東京湾で大集団をつくり、秋の訪れとともに、また遠く旅立ちます。



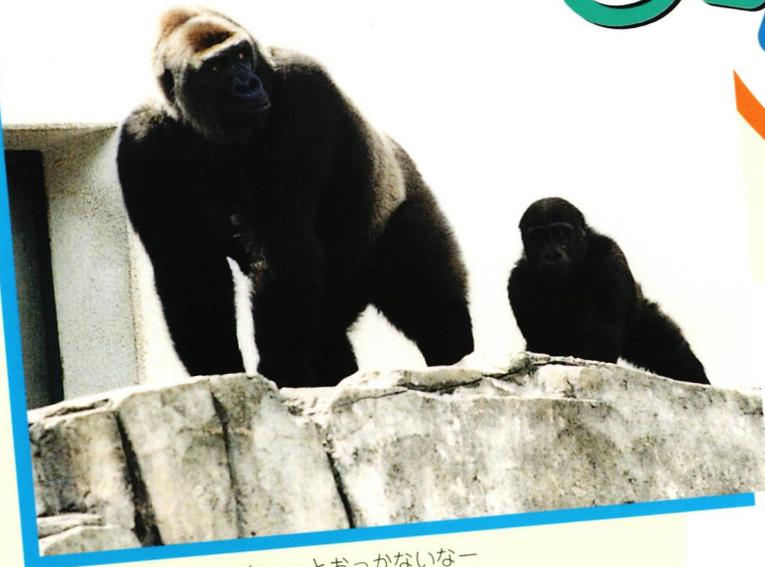
並木 美砂子 (Misako Namiki)

大特集

まっけたヨ～

モ

おかえい!



◆初めてのところで、ちょっとおっかないな～

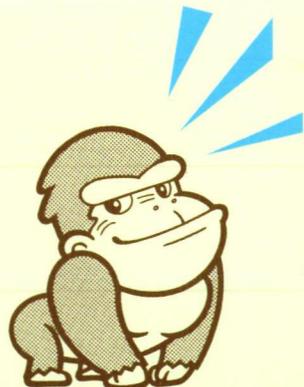


◆おんぶしてよ。♥早く乗んなさいよ

◆これが僕の顔かー
◆向こうにいる奴、誰なんだ



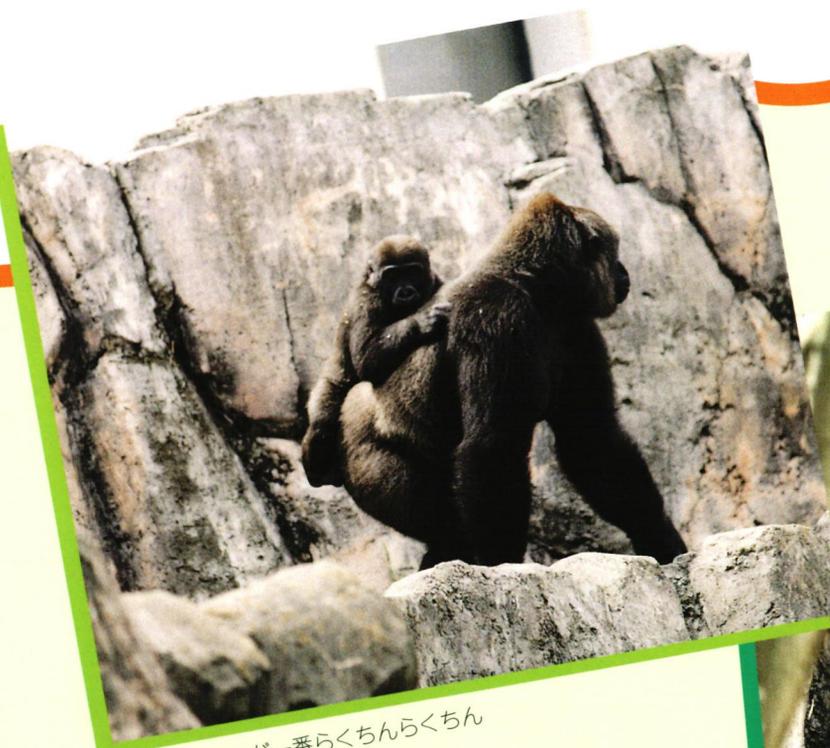
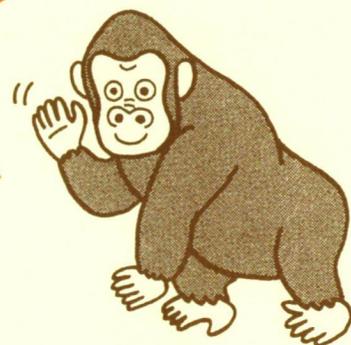
◆お母さん
遊んでくれなくて
つまんないや



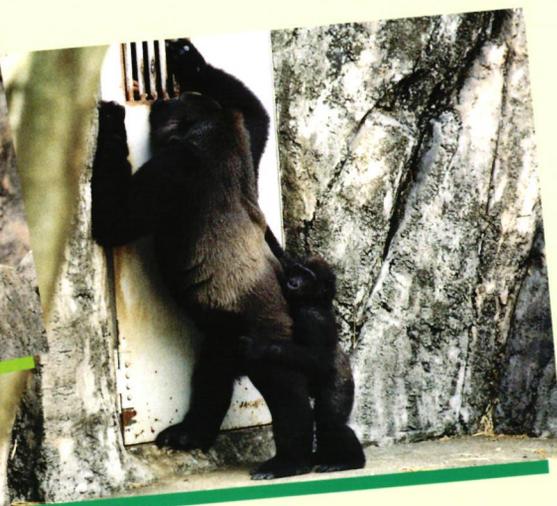
モコ

と

モモタロウ



♠ やっぱりこれが一番らくちんらくちん



♠ 僕にも見せてよ



♥ ここから見るのも久しぶりだわ

第18回

サマ〜スクール summer school

平成14年7月24日(水)~26日(金)



「サマースクール、きょうのよていを、これから言うヨ」



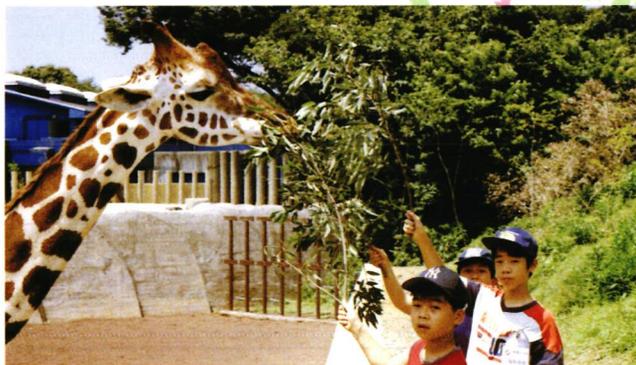
「これは、ベルシュロンといって馬のなかで一番大きいんだぜ」



「思ったよりきつい、動物さんのベッドメイキング」



「水牛について、これから説明するから」



「キリンさん、ハイ食事です。うでがくたびれるヨウ」



「アア、タイヘン“さきがおもいやられるヨ”」



「動物は人間よりもおいしい
 そうな食事をするんだネ、
 わたしたちも食べたいナ」



「ハイ、おたべ」



「食事の時間、仲間と食べるカレーは美味しいね！オカワリ」

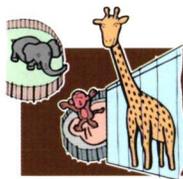


「標本作り、タマゴの中身をぬくのはむずかしいよ。
 くらうしました、つぶれやすいので」



「たいへんよく
 できました」

「暑い中ゴクロウサン、よく一日がんばったネ！
 終了書をさしあげます。」



動物公園ニュース (動物公園の動物) The animals in the chiba Zoological Park

ケープペンギン (フンボルトペンギン属)

学名: Spheniscus demersus

英名: African Penguin/Jackass Penguin/Black-footed Penguin

英名の「Black-footed.P」は彼らの足が黒い事から、「Jackass.P」はロバの鳴き声に似ている事からきています。フンボルトペンギンと良く似ていて、同じようにむねに一本の黒い帯がありますが、頭のうしろがわから目の上にかけて、はばの広い白い帯があるので、簡単に見分けることができます。

生息地は、南アフリカの海岸沿いや、そのまわりの島々に繁殖し、薄い緑色の卵をうみます。体重は、3キログラム、体長は40センチほどです。

ペンギンの舌は、食べた物を、のどのおくに送りやすいようにギザギザに、なっています。海岸の岩場の上や、岩の割れ目、ブッシュの中などに巣を作り、産卵します。抱卵は、雄雌交互にします。ヒナの餌は、親が、半消化物をはき戻して与えます。幼鳥の羽色は灰色で、それが抜けてから徐々に、親と同じ色になります。

普通、鳥の体は、空を飛ぶためにとても軽くできているので、ほねも、密度が粗く軽くなっています。ところが、ペンギンの場合空を飛ぶことがないため、骨の中身は、ぎっしりつまっておもくできています。このため、大きさのわりには、かたくて丈夫な翼になっています。

体形的にも流線型をしていて、水の抵抗を受けにくい形になっているのが、見てすぐにわかると思います。

南アフリカでは、卵料理に使うために、ケープペンギンのたまごがマーケットで、売られていたときもありますが、今ではすべてのペンギンが保護されています。

また、南アフリカの喜望峰おきで、タンカーから漏れた油で、はねがバトバトになり泳げなくなったケープペンギンが、多い年には、数千羽も助けられています。

保護されるようになってからは、今度は人間の島に住み着き、糞が多く固まり、困っている状況も報告されています。

伊場 真彦 (Masahiko Iba)



動物公園の植物...②1 The plants in the Zoological park

ギョイコウ (御衣黄) (Prunus lannesiana cv. Gioiko)



ギョイコウは、オオシマザクラ系サトザクラです。

サクラを庭に植え始めた平安時代からサクラの品種育成が行われ、人為的な交配や実生による変異、または野生のものからの選抜育成などで、200種以上の園芸種ができ、これらを総称してサトザクラと呼び、最も多い品種がオオシマザクラ系です。

ギョイコウは、もとは東京の荒川堤で栽培されていた品種で花の色が変わっていることから、古くから知られていました。

花は淡緑色で特異な花色であるため珍重され、花の大きさは栽培地によっていちじるしく異なり、京都と結城市のものでは小さく直径2~2.5cm、安行のものでは直径3cm、北海道松前町のものでは大きく直径4~4.5cmくらいになります。

若芽は開花時に大きく展開し、やや黄緑色を帯びた褐色で花弁は約13個、外側のもは円形で長さ約1.7cm、先端付近のふちには細かい切れこみがあり、ふちは外側に巻き返っています。

全体はごく淡い緑色で、部分的に濃緑色のすじが入り、この部分は裏面に気孔があります。花が終わりに近づくとき基部から主脈にかけて紅紫色になり、紅色の線が入った状態になります。

雄しべは約30個、きわめて小さく長さ約3mm、葯は淡黄色で先端はとがっています。葯隔は、しばしば突出し、雌しべは1個で雄しべよりはるかにつきでています。動物公園では、原種ゾーン内にギョイコウを植栽しておりますので、4月下旬の開花時期には是非とも探してみてください。

用途は、庭木などに使用されます。

岡澤 薫 (Kaoru Okazawa)



飼育よもやま話

Keeper's Episode

シロオリックス

当園の草原ゾーンで御覧になれます「シロオリックス」は偶蹄目のウシ科の動物で、体毛は淡色、首と胸は赤みをおびた茶色で、顔には褐色の斑紋があります。成長した時の体重は約200kgになり、100～127cmにおよぶ三日月形の長い角が自慢です。かつては北アフリカの大部分に生息していましたが、この立派な角を狙ってハンターが乱獲した為にその数は激減。サハラ北部では絶滅し、限られた狭い地域でしか見られなくなっています。

このシロオリックス2頭が今年の春から、仲間入りをしていますので、ご紹介いたします。オスは「クランチ」という名前で、東京の多摩動物公園生まれの2歳です。性格は少し臆病な所がありますが、堂々としたオスの魅力が出てきて、時々、夕方の収容時に部屋へ入らなかつたり、メスを追い出したりと私を困らせてくれます。これから立派なオスになり、よい父親になってくれることでしょう。

メスは「ラザニア」という名前で、和歌山県の南紀白浜アドベンチャーワールド生まれの5歳です。性格はとても落ち着いていて、おとなしいので、やさしい母親になってくれることでしょう。

当園で出会い、仲よく一緒に生活していますので、2頭の間にかわいい子供が生まれることを願っています。

千葉 茂 (Shigeru Chiba)



飼料センターより

From the Food center



千葉市動物公園で飼育されている動物は平成13年度末で、哺乳類65種392点・鳥類81種293点・爬虫類8種25点・両生類1種1点・合計155種711点です。

一年間で使用している餌の種類は野菜・果物類約35種類・魚介類約10種類・肉製品(生餌含む)約10種類・乳製品6～8種類・粗飼料約10種類・穀類約8種類・一般飼料約8～10種類・固形飼料約20～25種類・添加飼料約10種類、合計120種類ほどになります。

動物によっては餌の種類が1種類だけのものもいます。逆に20種類以上の餌を食べている動物もいます。

さて、どの動物がどんな餌を食べているのでしょうか。

鳥類・水系ゾーンで飼育されているハシビロコウ。まるで剥製のように動かないちょっと変わった鳥です。与えている餌は1種類、生きた鯉だけです。

モンキーゾーンの人気者ゴリラはどうでしょう。

バナナ、リンゴ、オレンジ(季節によってはミカンやグレープフルーツ)、青草、キャベツ、ニンジン、甘藷、タマネギ、セロリ、キュウリ、小松菜、白菜、大根、パン、落花生、パイナップル、ブルー、ゆで卵、おにぎり、ヨーグルト、スキムミルク、ハチミツなど。7月に帰ってきたモモコ・モモタロウ親子には他にキウイ、メロン、パパイヤも与えています。

ハシビロコウやゴリラの餌の種類は少ないと思いますか?多いと思いますか?

動物が野生下ではどんなものを食べているか知っていますか?

ところで、みなさんは何種類の食物を口にしていますか?

動物達と比べてみてください。

加藤 洋子 (Yoko Kato)





動物公園日誌から

From Zoological Park Diary

'02年2月1日~'02年7月31日

- 2月6日 中学生職場訪問あり
- 2月11日 バタスモンキー（1頭）繁殖
- 2月17日 園内バックヤード（40名）実施
- 2月20日 ハヤブサ 県自然保護課より保護依頼あり
- 2月22日 ツクシガモ 性別判定 実施
- 3月7日 ボトー（雌1） 展示室へ移動
- 3月13日 キンカシュー（雄1・雌1） 購入にて新着
- 3月18日 クロザル（雌1） 浜松動物園へ譲渡にて搬出
- 3月21日 ハシビロコウ（雌1） 心臓破裂にて死亡
- 3月24日 「ワンポイントウォッチング」（コンゴウインコ） 開催
- 3月26日 コサンケイ（2羽） 鯖江市へ貸与にて搬出
- 3月29日 ケーブペンギン（雄1）、コウライウグイス（雄3）
動物交換にて新着
- 4月6日 フンボルトペンギン 産卵みられる
- 4月15日 ケーブペンギン 検疫明けにてペンギン池に移動
- 4月18日 ブレーリードッグ 仔5頭 確認
- 4月21日 「ワンポイントウォッチング」（マレーバク） 開催
- 4月22日 カルフォルニアアシカ（雌1） 動物交換にて搬出
- 4月23日 チンパンジー 全頭 駆虫剤投与
- 4月27日 ムフロン（2頭） 繁殖
- 4月29日 マレーバク 出産に備えて別放飼場に移動
- 5月1日 ムフロン（1頭） 繁殖
- 5月2日 ブレーリードッグ 仔5頭の体重測定 実施
- 5月11日 ヒツジ「毛刈り実演」実施



- 5月13日 オオカンガルー他 動物交換にて搬出
- 5月16日 各獣舎自動扉 保守点検 実施
- 5月22日 第115回 関東東北ブロック技術者研究会 開催（動物科学館）
- 5月26日 「ワンポイントウォッチング」（フンボルトペンギン）
開催
- 6月4日 マレーバク（雌1）、カルフォルニアアシカ（雌1）
各繁殖
- 6月8日 「アニマルスクール」（身近な鳥の見分け方） 実施
中学生職場体験学習 5名 実施
- 6月12日 ショウガラコ マイクロチップ埋め込み作業 実施
- 6月17日 マレーバク 出産についての記者発表あり
- 6月23日 オオカンガルー（雌1） 急性肺炎にて死亡
- 6月23日 「ワンポイントウォッチング」（フタコブラクダ） 開催

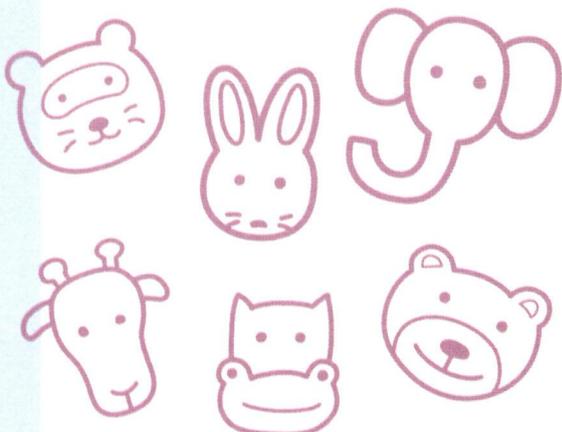


- 7月1日 ワオキツネザル（雌2） 東京都大島公園に寄贈にて搬出





- 7月8日 ニシローランドゴリラ（モモコ・モモタロウ）東京都上野動物園より帰還
盲学校生徒 体験学習 1名 実施
- 7月12日 ケヅメリクガメ（1頭） 東警察より保護預かり依頼
- 7月15日 ムフロン（雄1・雌2） 桐生が岡動物園に動物交換にて搬出
- 7月17日 ソウ舎 自動扉点検・修理
- 7月18日 コアジサシ 1羽 フ化
- 7月22日 ウサギ 全頭 体重測定 実施
- 7月23日 学芸員実習 1名 実施（8／2日まで）
- 7月24日 サマースクール（小学1～6年） 実施（26日まで）
- 7月28日 ニシローランドゴリラ（モモタロウ）体重測定 19.5kg
牧野 辰男（Tatsuo Makino）



編集後記

44号（夏号）が、おくれたことを深く、おわび申し上げます。今回44・45号を合併号（夏・秋号）として発行させていただきます。

ピックアップニュース“ゴリラの親子”が当動物公園に帰ってきました。8月4日より展示しています。大人気ですヨ。新しい目玉、モモコ（雌、19歳）と息子のモモタロウ（雄2歳）です。これにちなんで、こうえんニュースも親子をとりあげてみました。

モモタロウも当動物公園になれ元気に動き回っています。皆さんもぜひモモタロウを見に来てください。とてもかわいいですよ。職員一同おまちしています。

なお、次回の発行日は12月1日です。

名和 全孝（Zenkou Nawa）



アシカの親子



Information

9月・10月・11月の 催し物一覧

- ★ 9月15日㊦ ワンポイントウォッチング ナマケモノ
- ★ 9月22日㊦ 講演会「サバンナ・アフリカ・フンころがし
—いつまでも生きてほしいなあ—」
- ★ 10月 6日㊦ バルーンアートショー
- ★ 10月13日㊦ 折り紙教室
- ★ 10月14日㊦ ゆかいな森の音楽会
- ★ 10月20日㊦ ワンポイントウォッチング チンパンジー
- ★ 10月27日㊦ ペーパークラフト
- ★ 11月 2日㊧ クイズラリー
- ★ 11月 9日㊧ アニマルスクール
- ★ 11月17日㊧ 写真コンクール授賞式・講演会(写真家 さとうあきら氏)
- ★ 11月24日㊧ ワンポイントウォッチング アジアスイギュウ